

# 福岡県飯塚市域方言の副助詞

住田 幾子

## I. はじめに

### 1. 調査対象地： 福岡県飯塚市横田

飯塚市は、いわゆる筑豊地区内に位置する、人口、81,979名(1998年2月末日現在)の都市である。古くは産炭地として栄えたが、石炭産業の衰亡とともに、近年はハイテク企業の誘致なども行き、新しい都市に生まれ変わろうとしている。商業圏としては、まずは飯塚市内でのまとまりがあるが、北九州市・博多(福岡市内)方面へも人の流れがある。そして、当地域の生活語は、「筑豊方言」に属するものである。

### 2. 調査年月日： 1998年3月3日 19時～21時

### 3. 話者： (a)和泉 有紀 昭和52年7月生まれ

(b)和泉 ひとみ 昭和23年8月生まれ

(c)和泉 義光 大正 3年3月生まれ

### 4. 調査者・調査場所： 住田幾子、和泉宅

### 5. 調査方法： 統一調査票による質問調査

### 6. 記述方法： 話者の(a)・(b)・(c)は、ともに飯塚市のはえぬきの土地っ子である。(a)は大学生、(b)はその母親、(c)は(a)の祖父にあたり、一家族内で生活している。調査では、統一調査票を(a)が中心となって答え、(b)または(c)とで回答が異なる場合は、その都度、三者で話し合いを行なうという方法をとった。複数の回答がなされた場合は、「よく使う」というものから①・②などの順に番号をつけて記述した。

## II. 調査結果

### (1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

#### A 添加

1 雨だけでなく風さえでてきた。(a)①アメダケヤ ナクテ カゼモ フイテキタ。  
／②「カゼマデ」

2 今年豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。(a)コトシワ ホーサクデ  
コメダケヤ ナイデ ムギモ ヨー トレタ。／(b)①アンタ コトシワ  
ホーサクチバッテ アンタ コメモ ムギモ ヨー トレタ チバイ。(あんた、今年豊  
作ってことだけど、あんた、米も麦もよくとれたってよ。)／②「コメバカリカ ムギモ」

#### B 予想外の事実

3 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。(a)①ショーガクセーデモ  
カンタンニ ワープロ ツカイヨル モン。／②「ショーガクセーデサエ」

- 4 (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 (a)①アタルト  
オモ一チョランカッタキ ウレシー。/②「オモ一チョランカッタダケニ」

C 条件

- 5 暇さえあれば釣りに行っている。 (a)ヒマサイ アツタラ ツリニ イキヨー。

D 例示

- 6 まあお茶でも飲んでください。 (a)オチャデモ ノンデクダサイ。/ (b)(c)  
「オチャナト」

青年層では共通語形の「デモ」のみが使われ、老年層・中年層で使う方言形の「ナト」が使われなくなっている。質問文18の「でも」の場合も同様である。

- 7 みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 (a)ミヤゲニワ マンジューヤラ  
イーツチャ ナイ。

- 8 おもわず跳び上がるほど嬉しかった。 (a)①オモワズ トピアガルゴト  
ウレシカッタ。/②「トピアガルグライ」/③「トピアガルホド」

「ゴト」については、比況の助動詞の「ゴトアル(ようだ)」もあり、当方言に「如し」が温存されていることがうかがえる。

- 9 まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 (a)マサカ アンタマデ  
ハナシガ イクトワ オモワンカッター。/ (b)「アンタニマデ」

- 10 なくるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 (a)ナグッタリ ケッタリ シタ。

- 11 私になり相談してくれれば良かったのに。 (a)①ワタシニ ソーダンシテクレレバ  
ヨカッタノニ。/②ワタシニデモ イエバ ヨカッタノニ。(私にでも言えばよかったのに。)

- 12 野菜なんていくらでもできる。 (a)①ヤサイゲナ ナンボデモ デキル ヨ。/  
②「ヤサイナンカ」/③「ヤサイグライワ」

「ゲナ」は、「ナンカ」より新しいものである。『福岡県ことば風土記』(1988 岡野信子 葦書房 227～229頁)に、「『ゲナ』の歴史」についての記述があって、この用法についても的確な説明がなされている。

一対の語の例示

- 13 しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 (a)①ショーユヤラ ミソヤラ  
ツクリヨッタ。/②「ショーユトカ ミソトカ」

択一

- 14 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 (a)①ワタシデモ オトートデモ  
ダレカガ イキマス。/②「ワタシトカ オトートトカガ」/ (b)「ワタシカ  
オトートガ」/ (c)「ワタシカ オトートカガ」

例外でない

- 15 村長とて、そうするより仕方なかったんだろう。 (a)ソンチョーデモ ソー  
スルシカ ナカッタツチャ ナイ。

## 列举

- 16 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 (a)ハルラシク ナツテ ウメモ  
サクラモ イッペンニ サイタ。

### 同類の暗示

- 17 テレビもそろそろ買い替えよう。 (a)テレビモ ソロソロ カイカエヨー。  
やわらげ
- 18 まあお茶でも飲んでください。 (a)マー オチャデモ ノンデクダサイ。/  
(b)ミカンナト ドーソ。(みかんでも、どうぞ。)

## E 包括

- 19 盆には子や孫などが帰ってくる。 (a)ボンニワ コヤ マゴガ カイッテクル。

## F 提題

- 20 ゲートボールだってできるよ。 (a)ゲートボールデモ デキル ヨ。

### 話題にあげる

- 21 何だい、いいことって。 (a)ナーン、イー コト チ。/(c)ナン カ、イー  
コト チャ。

### 極端なものの提示

- 22 そんなこと子供にでもできるよ。 (a)ソゲナ コト コドモデモ デキル バイ。  
/(c)ソンナ コタ コドモダッテ デクル。
- 23 食べることくらいは何とかしたい。 (a)タベル コトグライ ナントカ シタイ。
- 24 名前すらろくに覚えていない。 (a)ナマエスラ ロクニ オボエチヨラン。
- 25 弁当代に千円もかかった。 (a)ベントーダイニ センエンモ カカッタ。

### 軽いものをあげる

- 26 これさえあればもう大丈夫だ。 (a)コレサイ アレバ ヨカロー。

## (2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

## G 分量・程度

- 27 旅行で三日ほど家をあけた。 (a)リョコーデ ミツカグライ イエオ アケタ。
- 28 茶わんに半分くらいください。 (a)チャワンニ ハンブングライ チョーダイ。  
/(c)「ハンブンホド」
- 29 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 (a)①コドモニデモ ワカルグライ  
ヤサシー ホン バイ。/(c)②「ワカルクライ」
- 30 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 (a)イッシューカングライ ルスニ スルキ  
タノム バイ。/(c)「イッシューカンバカリ」

## H 基準

- 31 今年の寒さは去年ほどではない。 (a)コトシノ サムサワ キョネンホドジャ

ナイ。

I 理由

- 32 ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 (a) チヨット  
ユダンシタバッカリニ ネ。 スゴイコト ナッタ。

J 「それにふさわしく」

- 33 苦勞しただけあって人間ができています。 (a) クローシタダケアッテ ニンゲンガ  
デキチョー。

形式名詞的用法

- 34 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 (a) モリヤラナンヤラデ イソガシー。

「それこそ」

- 35 それこそ バケツをひっくりかえしたような大雨だ。 (a) モー ソエコソ バケツ  
ヒックリカエシタゴトアッタ ネー。(もう、それこそバケツをひっくりかえしたようだったねえ。)

「ばかりか」

- 36 父ばかりか 母も スポーツ好きだ。 (a) チチダケヤ ナクテ ハハモ  
スポーツズキデス。

K 今にも行なわれる

- 37 もう食べるばかりにしてある。 (a) ① モー ネルダケ。(もう寝るだけ。) / ② モー  
タベルダケニ シテアー。 / (c) 「タベルバッカリ」

動作の完了直後

- 38 今、仕事から帰ったばかりだ。 (a) イマ シゴトカラ カエッテキタバッカリ。

基準

- 39 駅までも うちちょっとだ。 (a) エキマデ モーチョット バイ。

L 等量の反復

- 40 一人ずつ呼んで話をした。 (a) ヒトリズツ ヨンデ ハナシオ シタ。

M 等量の配分

- 41 一人に二個ずつ みかんをやる。 (a) ヒトリ ニコズツ。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N 限定

- 42 酒はたまにしか飲まない。 (a) サケワ タマーニシカ ノマン。

- 43 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 (a) ケサワ ネポーシテ パンダケ  
タベテキタ。

- 44 そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 (a) ソゲン ベンキョーバッカイ  
シヨッタラ カラダイ ワルイ バイ。

- 45 うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 (a) ウチノ タンボガ

ノコッチョーダケデ ヨソワ ゼンブ オワッチョー。

O 強調

- 46 もうこれだけしかないよ。 (a)①モー コレシカ ナイ バイ。/②「コレダケシカ」  
47 今年こそいい年にしたい。 (a)コトシコソ エー トシニ シタイ。

P 限界

- 48 これだけ言っても分からないのか。 (a)①コゲン (こな) ユツテモ ワカランカネ。/②「コンダケ」  
49 2千円くらいまでなら何とかなる。 (a)ニセンエン グライナラ ナントカナル。

(4) 陳述的なもの

Q 「～ば～だけ」

- 50 肥料をやればやるだけよく育つ。 (a)ヒリョー ヤレバ ヤルダケ ソダツ。/ (b)「ヤルブン」

「假定形・ば・こそ」

- 51 心配すればこそ言うんだ。 (a)(b)(c)「～すればこそ」は言わない。

(a)シンバイヤキ ユー ンバイ。 (心配から言はよ。)

「こそ・假定形」

- 52 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 (a)(b)(c)「～こそ言え」は言わない。 ((a)アノ ヒタ モンクバツカイ ユーテカラ イッチョン ヒトノ ユーコト キカ セン。 あの人は文句ばかり言て、すこし人の言うことを聞かぬ。)

- 53 「～でこそあれ」という言い方はありますか。 (a)(b)(c)「～でこそあれ」は言わない。

「未然形・ば・こそ」

- 54 押しても引いても動かばこそ。 (a)(b)(c)「～ばこそ」は言わない。

「～こそ。」

- 55 失礼なことを言わないでこそ。 (a)(b)(c)「～でこそ」は言わない。

「～こそ～が」

- 56 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 (a)イマコソ イエカラ デランバツテンガ マエワ ヨー デヨツタ。

「～ば～ほど」

- 57 働けば働くほどもうかる。 (a)①ウゴケバ ウゴクホド カラダニワ イー。( 働けば働くほど体は強い。) /②ハタライタラ ハタライタダケ モーカル。

R 打ち消しとの呼応

- 58 村長に聞くまでもないことだ。 (a)①ソ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>チ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup> キ<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>ホ<sup>ニ</sup>ド<sup>ニ</sup>デ<sup>ニ</sup>モ ナ<sup>ニ</sup>イ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>チャ<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup>イ。 / ②「キ<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>マ<sup>ニ</sup>デ<sup>ニ</sup>モ」 / (b)①「キ<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>ゴ<sup>ニ</sup>ト」 / ②「キ<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>ゴ<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>モ」

否定との呼応（それさえもない）

- 59 朝から忙しくて昼飯も食えない。 (a)ア<sup>ニ</sup>サ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>ラ イ<sup>ニ</sup>ソ<sup>ニ</sup>ガ<sup>ニ</sup>シ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>タ<sup>ニ</sup>キ ゴ<sup>ニ</sup>ハ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>モ タ<sup>ニ</sup>ベ<sup>ニ</sup>チ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ン。

否定的取り上げ

- 60 こんなものなどいくらでもあるよ。 (a)コ<sup>ニ</sup>ゲ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>ナ<sup>ニ</sup>ラ イ<sup>ニ</sup>ッ<sup>ニ</sup>パ<sup>ニ</sup>イ アル ヨ。

全面否定

- 61 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 (a)ダ<sup>ニ</sup>レ<sup>ニ</sup>デ<sup>ニ</sup>モ ソ<sup>ニ</sup>ゲ<sup>ニ</sup>ン コ<sup>ニ</sup>ト ユ<sup>ニ</sup>ワ<sup>ニ</sup>レ<sup>ニ</sup>タ<sup>ニ</sup>ラ オ<sup>ニ</sup>コ<sup>ニ</sup>ル ク<sup>ニ</sup>サ。

次の動作が不可能

- 62 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 (a)①ジュ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>ネ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>マ<sup>ニ</sup>エ<sup>ニ</sup>ニ イ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>タ<sup>ニ</sup>マ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>マ イ<sup>ニ</sup>ッ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>イ<sup>ニ</sup>モ カ<sup>ニ</sup>エ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>チ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ン パ<sup>ニ</sup>イ。 / ②「イ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>タ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>キ<sup>ニ</sup>リ」

(5) モダリティー的なもの

T 不確かな気持ち

- 63 いつのまにやら眠ってしまった。 (a)イ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>ノ<sup>ニ</sup>マ<sup>ニ</sup>ニ<sup>ニ</sup>カ ネ<sup>ニ</sup>チ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>タ。

- 64 何のことかわからない。 (a)ナ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>ノ コ<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>カ ワ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ン。

推定

- 65 後で遊びに行くかもしれない。 (a)ア<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>デ ア<sup>ニ</sup>ソ<sup>ニ</sup>ビ<sup>ニ</sup>ー イ<sup>ニ</sup>ッ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>モ シ<sup>ニ</sup>レ<sup>ニ</sup>ン。

どちらか分からない

- 66 来るのやら来ないのやらよく分からない。 (a)ク<sup>ニ</sup>ル<sup>ニ</sup>カ コ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>カ ワ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ン。

はっきり言わない

- 67 どこやらへ引っ越したそうだ。 (a)ド<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>カ ヒ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>コ<sup>ニ</sup>シ<sup>ニ</sup>チ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ー チ<sup>ニ</sup>パ<sup>ニ</sup>イ。

U 非難

- 68 お父さんたら今日も遅いのね。 (a)オ<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>サン、キ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>モ オ<sup>ニ</sup>ソ<sup>ニ</sup>イ チ<sup>ニ</sup>パ<sup>ニ</sup>イ。 / (b)オ<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>サン<sup>ニ</sup>ガ ク<sup>ニ</sup>サ。キ<sup>ニ</sup>ョ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>モ オ<sup>ニ</sup>ソ<sup>ニ</sup>イ チ<sup>ニ</sup>パ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>イ。

- 69 お父さんてば、子供のようなことを言って。 (a)オ<sup>ニ</sup>ト<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>サン<sup>ニ</sup>ツ チャ。モ<sup>ニ</sup>ー キ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>テ<sup>ニ</sup>ツ<sup>ニ</sup>チ イ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>ヨ<sup>ニ</sup>ー ヤ<sup>ニ</sup>ン。(お父さんてば、もう、聞いてって訊いてるでしよう。)

### III まとめ

この調査票（共通語形）と、それをもとにした質問調査で得られた当地方言での用例とを対照させてみた。その結果、共通語にあって当方言には見られないものに、「など・なり・なんて・とて・って・たら・てば」などがあり、また、当方言にあって共通語にはないのが、「ナラ・ナト・ゲナ・ナンカ・ブン・グライ・ゴト・マンマ・チャ」などの語で

あった。以下に、個々の助詞についての、共通語と当方言との対照結果を一覧表にして整理しておきたい。

(1) 当地方言と共通語とが語形・用法ともに一致するもの

(買戻文の番号) (買戻文の語形) (当地方言の語形)

2・17・25	も	モ
16	も～も	モ～モ
59	も～ない	モ～ン

65	かも	カモ
----	----	----

24	すら	スラ
----	----	----

40・41	ずつ	ズツ
-------	----	----

(2) 方言形が音変化をしているものなど (一部に用法の差があるものも含む)

38・44	ばかり	バツカリ・バツカイ
32	ばかりに	バツカリニ
30	ばかり	バカリ

42	しか	シカ
46	だけしか	シカ・ダケシカ

5・26	さえ	サイ
1	さえ	モ・マデ

9	にまで	マデ
39	まで	マデ

47	こそ	コソ
56	でこそ～が	コソ～ガ
35	それこそ	ソエコソ

(3) 当地方言の「ダケ・マ(一)ンマ・デモ・ナト・グライ・ゲナ・ゴト・ヤラ・カ・チャ」などの用法

43・48	だけ	ダケ
4	だけに	ダケニ
37	ばかりに	ダケニ・ダケ ・バツカリ
33	だけあって	ダケアッテ
50	ば～だけ	バ～ダケ・バ ～ブン

6・18	でも	ナト・デモ
22	にでも	デモ・ダッテ
3	でさえ	デモ・デサエ
11	になり	ニデモ
14	なり～なり	デモ～デモ・トカ ～トカ・カ～カ・ カ～(ガ)

57	ば〜ほど	タラ〜ダケ・ バ〜ホド
36	ばかりか	ダケヤナクテ
45	きりで	ダケデ
62	きり	マーンマ・キ リ

15	とて	デモ
20・61	だって	デモ
58	までもない	ホドデモナイ・マ デモナイ・ゴトナ ナイ・ゴトモナイ

23	くらい	グライ
29	くらい	グライ・クライ
28	くらい	グライ・ホド
49	くらいまで（なら）	グライ（ナラ）
30	ばかり	グライ・バカリ
12	なんて	ゲナ・ナンカ・グライ
8	ほど	グライ・ゴト・ホド
27	ほど	グライ
31	ほど	ホド

21	って	チャ
69	てば	チャ

60	など	ナラ
7	など	ヤラ
19	や〜などが	ヤラ〜ヤラ
13	だって〜だって	ヤラ〜ヤラ・トカ〜トカ
34	やなんか	ヤラナンヤラ

63	やら	カ
67	やらへ	カ
66	のやら〜のやら	カ〜カ
64	か	カ
10	やら〜やら	タリ〜タリ

当地の言語生活においては、旧来の方言の中に、新来の共通語があって、それぞれが各々の役割を果たして生きている。今後、当地方言の助詞の存立状況を見るときには、方言・共通語との両者を区別してとらえるのではなく、一地方に存在するものとして合わせて見ていく必要があると考える。が、その方法については、まだまだ研究の余地があると思う。

(すみだいくこ 梅光女学院大学)